

令和6年6月18日(火)に江東区教育センター大研修室にて、区立小中学校義務教育学校の教員を対象に「俳句教育研修会」を開催しました。

「こども俳句指導のコツ」をテーマに深川芭蕉小中学生俳句大会実行委員さんによる講義・演習が行われました。



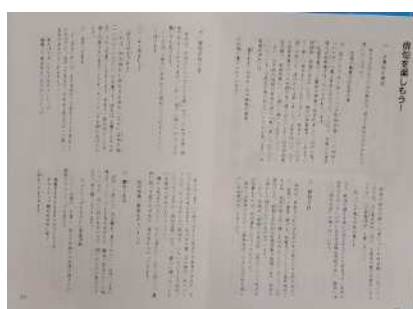
本区が毎年作成している「江東区立小・中学校俳句集『きらり』」の中に「俳句を楽しもう」というコーナーがあり、児童生徒の学習に役に立つことを紹介してくださいました。

季語には力があり、「季語に自分の気持ちをのせる」ことのお話がありました。

例えば、**季語**+今日は午後から研修会に、いくつかの季語を入れてみると、どのような感じがするだろうか、ということでした。

<季語>走り梅雨・梅雨晴れ間・五月晴れ・

青葉梅雨・梅雨近し・梅雨深し・梅雨長し等々季語を入れて読んでみると、研修会を楽しみにしている俳句、ちょっと面倒だなと思っているのかも…と思える俳句もありますね。



演習の季語は「生ビール」「ラムネ」「麦茶」などでした。70校の教員が18グループを作り、代表句で「句会」をしました。講師から「誰々とどこでどんなふうに生ビール」「どんな音が聞こえる?」「それは何の音?」などとヒントワードをいただきました。「五年ぶりコロナが明けた生ビール」「教員は声の大きい生ビール」「一気飲みチョビ飲みさまざま生ビール」と講師が詠みました。

句会で上位3句に選ばれた教員の句を紹介します。

- ① 『ラムネよりビー玉ほしくて一気飲み』
- ② 『野球場一点返して生ビール』
- ③ 『走り梅雨プールバックとにらめっこ』

「いい句はいつも作れるとは限らない。でも、いい句を選ぶことはできるから、たくさん褒め合おう」という講師の言葉がけて感想を伝え合いました。

- ① 飲む目的は、喉の乾きを癒やすためではなく、一気飲みという動作が具体的でいい
 - ② 応援チームがまだ負けているけれど、一点でも返せてとてもうれしい様子が分かる
 - ③ プールに入りたいのに、雨で入れない。にらめっこという身近な表現に共感した
- 上記以外にも多くの秀句がありました。

『ヨガ帰り糖質オフの生ビール』

『妻に愚痴聞かせ呑み干す生ビール』

『生ビールジョッキ半分揺れる空』

『一日をゴクリと飲み込むラムネ瓶』

明日からの授業に活かせる楽しい研修会となりました。

